

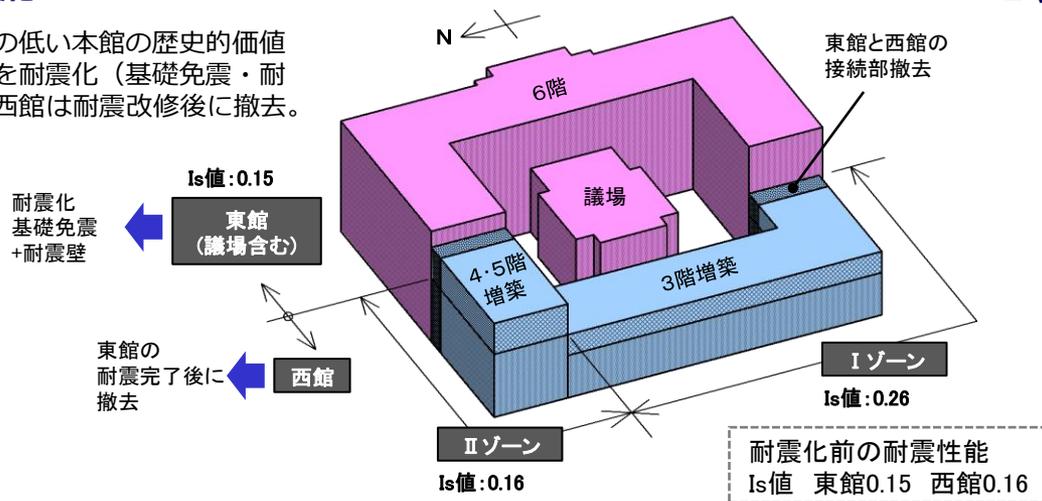
大阪府庁舎本館耐震改修工事

所在地：大阪府中央区大手前2丁目
 敷地面積：約14,000㎡
 延べ面積：改修前 約34,000㎡
 改修後 東館 約25,000㎡（西館 約9,000㎡は撤去）
 階数：地下1階 地上6階
 構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）
 施工：（建築）大林組・南海辰村建設共同企業体
 （設備）八千代・三電工特定建設工事共同企業体
 （株）共栄設備 須賀工業(株)大阪支社 大阪瓦斯(株)
 工期：2013年（平成25年）10月28日～2016年（平成28年）12月15日



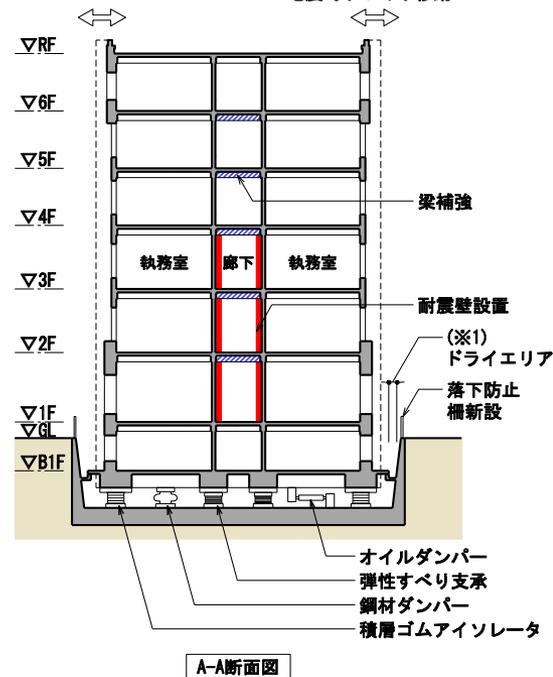
■ 本館の耐震化

耐震性能の低い本館の歴史的価値の高い東館を耐震化（基礎免震・耐震壁）し、西館は耐震改修後に撤去。



■ 免震レトロフィット工法

建物は免震装置により地震時ゆっくり移動



(※1) 地震時に地面と建物がぶつからないようにするため、建物周囲にドライエリアを設ける。

耐震完了後
Is値 東館0.9相当

■ 免震装置の機能と種類 (合計233基)

積層ゴムアイソレータ	弾性すべり支承	直動転がり支承	鋼材ダンパー	オイルダンパー
地震の揺れを吸収し、建物の重量を安定して支える免震装置。外周部に設置し建物のねじれ剛性を確保	建物の重量を支えながら、地震動時にすべらし、大地震の揺れを伝える免震装置	引抜き力に有効な十字型の免震装置で、低層で荷重が軽い玄関部分の浮上り防止に設置	鋼材の復元力を利用した建物の揺れを早く収める免震装置	ピストン内のオイルの抵抗力を利用した建物の揺れを早く収める免震装置
80基	106基	2基	33基	12基